先端医療センター病院の中央市民病院への統合について

昨年、神戸市長から、先端医療センターの中央市民病院への統合の要請を受け、神戸市民病院機構（中央市民病院）では、平成29年11月統合に向けて、先端医療センターと共に統合準備を進めています。

1. 統合の概要

先端医療センター病院の診療部門及び臨床研究・治験部門を市民病院機構に集約することとし、以下の3項目を実施いたします。

①先端医療センター病院（病床60床）を廃止する。

②病床の優先配分により中央市民病院を増床し（60床）、機能強化する。

③中央市民病院は、先端医療センター病院で実施していた医療機能、治験・臨床研究を継承、拡充するとともに、救急バックベッドを確保する。

しおかぜ通信 37 号 TOPIX

P1・2　先端医療センター病院の中央市民病院への統合について
P3　がんゲノム検査外来を開設しました
P4　外来採血室からのご案内（自動受付機について）
P5　病院食レシピ紹介　鱈のチリソースかけ
P6　院内ボランティア募集 ～あなたの優しさを求めています～
P7　アイセンター病院開院に伴う診療体制の変更
P8　中央市民病院からのお知らせ

2.統合の効果

期待される統合の効果として、以下の2項目が想定されます。

①中央市民病院の救急医療体制の拡充効果

中央市民病院の入院機能の一部を先端医療センター病院に移行することにより、中央市民病院本館に救急バックベッドを確保し、さらなる救急医療の拡充を図ります。

②神戸医療産業都市における臨床研究実施体制の拡充

先端医療センター病院の臨床研究・治験部門を中央市民病院に統合し体制を強化することで、より質の高い最先端・国際水準の臨床研究治療を実施してまいります。

3.「南館」の医療機能（案）

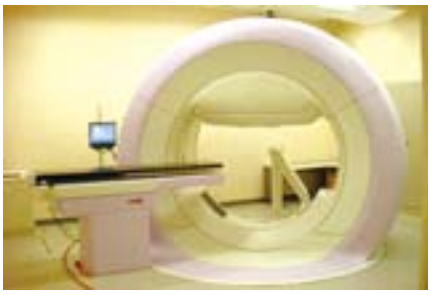
①病棟機能（60床）

②検査部門（生理検査等）

③放射線機器部門

（MR・CT・リニアック）　など

※先端医療センター病院部分は統合後「南館」、現在の中央市民病院部分は「本館」となります。



4.スケジュール（概要）

29年11月（予定）統合

・ 先端医療センター病院廃止

・ 中央市民病院増床

平成２９年11月1日より、先端医療センター病院は中央市民病院の一部（南館）となります。

南館では、入院診療、生理検査、MR･CT･リニアック検査などを行います。

医療機能の変更に併せて、改修工事なども行ってまいりますので、ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。

がんゲノム検査外来を開設しました

腫瘍内科　安井　久晃

がんの多くは、正常な細胞の遺伝子に様々な異常（専門的には「変異」といいます）が起こることにより生じます。がんの増殖に特定の遺伝子変異が重要な役割を果たしている場合があり、その遺伝子の働きをピンポイントに抑える薬剤（分子標的治療薬）を用いることによって劇的な効果が得られる可能性があります。

抗がん剤には効果が認められるがん腫が適応症として決められており、原発臓器に応じて治療薬を決定します。一方、臓器に関係なくがん細胞の遺伝子（ゲノム）の変異に基づいて薬剤を選択するという戦略は「プレシジョン・メディシン」と呼ばれています。アメリカではオバマ前大統領が国家戦略としてプレシジョン・メディシンを打ち出したことが大きな話題となりました。日本でも同様の動きが始まっています。

検査の具体的な方法ですが、手術や生検で得られた腫瘍組織（ホルマリン固定されたもの）からがん細胞のDNAやRNAを抽出し、数十～百個以上の遺伝子の塩基配列を、次世代シーケンサーと呼ばれる装置を用いて一度に検査します。これまでは1つ1つの遺伝子を個別に調べていたものを、まとめて検査するということです。

このようながんゲノム検査は今のところ保険適応となっていないため、研究として行われている一部のものを除き自費で行われます。既にいくつかの施設で検査が行われていますが、費用が90～100万円ほどかかり、簡単にできるものではありませんでした。

今回当院で採用した「P5がんゲノムレポート」では52個の遺伝子を検査し、既承認薬だけでなく臨床研究中の薬剤を含めた最新の臨床情報とともに結果が報告されます。検査の説明や結果報告は「がんゲノム検査外来」で行います。当院の検査も決して安価ではありませんが、標準治療のない、あるいは既存の治療が効かなくなった患者さんの治療選択肢を探る有用な方法になりうると考えています。

検査に関する詳細は、当院ホームページ http://chuo.kcho.jp/news/2017-06-30 をご覧下さい

■費用

この検査は、保険診療として認められていないため、費用を負担していただく必要があります。レポートを含むこの検査の費用は、432,340円（税込）です（検査説明費用込み）。

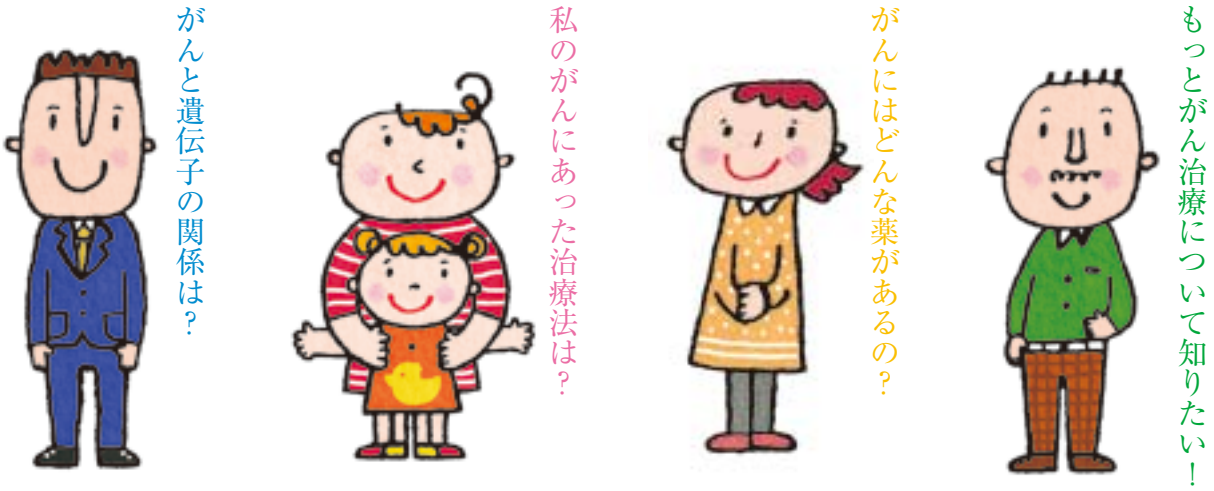
■申込方法

本検査をご検討される場合は、「がんゲノム検査外来」をお申込みください。

（※）検査申込み有無に関わらず、検査説明費用10,800円がかかります。

当院を受診されている場合は、主治医に相談してください。

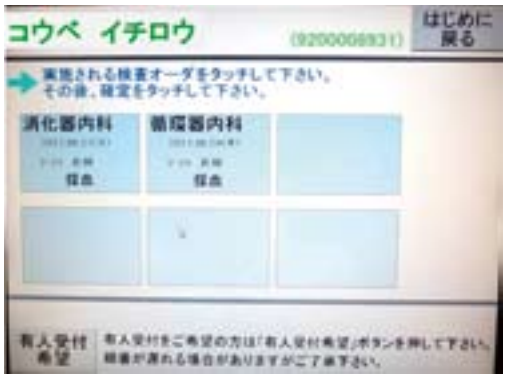
当院を受診されてない場合は、かかりつけ医にご相談の上、かかりつけ医から事前にFAX予約を取ってもらってください。



外来採血室からのご案内（自動受付機のご利用について）

臨床検査技術部　外来採血室

★採血室前の自動受付機

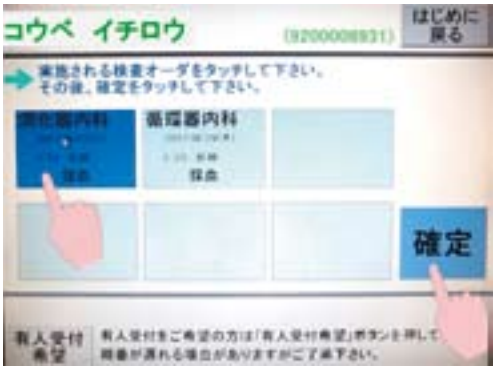


★例：画面に表示された採血オーダ
（医師がオーダした採血日の前後 10 日間の間に採血する診療科名が表示されています。）

■ご注意ください！

中央市民病院の外来採血受付は、複数の診療科からの採血オーダがあっても１回でまとめて採血できるように採血受付システムを導入し、自動受付機で行っています。受付機の画面には、医師がオーダした採血日の前後10日間の間に採血が受けられるように、対象になるすべての診療科名が自動的に表示されます。これを選択し「確定」を押すだけで簡単に受付を完了することができます。

ところが、画面のタッチが不十分であったり、押し忘れたりすると、**必要な検査オーダが正しく選択されずに「確定」されてしまいます。**この場合、タッチされなかった採血オーダは“検査未実施”となって残るため、患者さんには、**①会計ができないため、会計窓口で長時間お待ち頂き、再採血となる②後日の診察日に検査結果が出ていない**、などのご迷惑をおかけしてしまいます。これは特に複数の診療科からの採血オーダがある場合に多く起こります。



★消化器内科の採血オーダのみが選択された状態（これで「確定」すると循環器内科オーダが未実施となります。）

■ お願い

- 医師より「診察当日に採血して下さい」などの指示がない場合は、**画面に表示されたすべての診療科名を選択して「確定」を押して**ください。
- もし、画面に表示された複数の診療科の受付を2回に分けて受付した場合は、受付番号票が2枚出ます。**採血担当者に番号表が2枚あることをお申し出ください。**

★消化器内科と循環器内科の採血オーダが選択された状態（特別な指示がない限り、両方の診療科を選択して「確定」して下さい。）

簡単ヘルシー！病院食レシピ紹介コーナー☆

栄養管理部（杉岡）

＊献立写真と献立数値の提供：日清医療食品

今回は、病院食で提供している献立の中から比較的食べやすい魚料理を紹介します。

鱈は秋から冬が旬ですが、スーパーでは年中売られています。栄養的な特徴としては、脂肪が少なく、鯖の50分の1程度となります。豆板醤は、ソラマメと唐辛子を主原料にした中国の発酵調味料で、マーボー豆腐などに使用されます。辛いのが苦手な方、小さなお子さんがいる場合は、豆板醤は無くてもよいです。ただし、その場合は、献立名の「チリ」は、チリペッパー（唐辛子）のことですので、ケチャップソースに変わりますが・・・。唐辛子と言えば、カプサイシンがダイエットに効果があるなど話題になりましたが、そのような可能性を示す研究がある一方で、カプサイシン摂取量が多いと肥満度が高い…等を示す研究もあります。あくまでも香辛料の一つとして、おいしく食べる手段に使用する程度がよいのではないでしょうか。夏の暑い日々には、さっぱりした鱈とピリッとくるチリソースでおいしく食べるなどいろいろ工夫をし、食事量が減少しないよう、そして夏バテをしないようにしましょう。

鱈のチリソースかけ　［４人分］

《材料4人分》

・鱈	４切れ　1切(60g)
・料理酒	小さじ2杯
・卵	1/4個程度
・小麦粉	大さじ３杯弱
・水	大さじ ２～３杯
・揚げ油	適量

≪チリソース≫

・玉ねぎ	中１個(200ｇ程度)
・青ねぎ	１本程度
・油	小さじ2杯
・水	100cc(カップ1/2)
・おろし生姜	小さじ１杯程度
・豆板醤	小さじ1/10杯程度
・中華味(顆粒)	小さじ１杯
・ケチャップ	大さじ４杯
・濃い口しょうゆ	小さじ1/2杯
・砂糖	小さじ2杯
・片栗粉	大さじ1杯
・水	大さじ１杯程度

〔付け合わせ〕

チンゲン菜	２株
塩	小さじ1/8杯

エネルギー　187kcal　たんぱく質　11.1ｇ
食塩相当量　1.3ｇ

【作り方】

☆鱈☆

①鱈は１切れを1/3に切り、料理酒を振っておく。
②小麦粉と溶き卵を混ぜ合わせ、水で濃度を調整して①を絡める。
③油を180度に熱し、②を揚げる。

☆チリソース☆

①玉ねぎはみじん切り、青ねぎは小口切りにする。
②厚手の鍋またはフライパンに油を熱し、玉ねぎを香りが出るまで炒める。
③水と調味料を入れて中火で煮る。水溶き片栗粉でとろみを付け、青ねぎを加えて混ぜる。

☆付け合わせチンゲン菜☆

チンゲン菜は塩茹でし、3cmほどの長さにカットしておく。少量の油で炒めてもよい。

☆盛り付け☆

器に揚げた魚を置き、チリソースを上からかける。チンゲン菜を添える。

院内ボランティア募集

ボランティア室　ボランティアコーディネーター
崔（チェ）　孝行（ヒョヘン）

～あなたの優しさを求めています～

ポートライナー・医療センター駅を降り連絡通路を通って病院玄関に足を踏み入れると、みなさんが最初に目にするのは、「ステップbyステップ」と染め抜いたエプロンを着て、「案内ボランティア」のプレートが置かれたデスクに座っているボランティアの優しい笑顔のはずです。

ステップbyステップは平成16（2004）年に発足した中央市民病院の院内ボランティアグループです。院内ボランティアは、「市民の目線」で、病院職員と協力して患者さんやご家族が安心して療養生活を送れるように支援し、市民の方々をあたたかい雰囲気で迎えられるように努めます。ボランティアは、職員と協働し患者さんを支援する<チームの一員>です。

又、ボランティア活動には素晴らしい「効能（？）」があります。「やってみよう！」で始めるのがボランティアです。自分から進んでやるから楽しめるし、仲間もふえます。楽しいから誰でも参加できるし、長く続けられる―新しい出会いと新しい世界、それがボランティアです。

みなさん、是非ご一緒しませんか！

※ボランティアには「外来案内」「図書室運営」等いくつもの活動があります。募集に関する詳しい内容は、中央市民病院ホームページ（「中央市民　ボランティア」で検索）を参照して下さい。

第 14 回がん市民フォーラムのご案内

当院は「**地域がん診療連携拠点病院**」であり、「がんセンター」が整備されてからは、関連診療科が連携して、緩和ケアを含めて、効率的ながん治療を行っています。

昨今の急激な高齢化社会において、がん患者は増加傾向にあり、がんに対する関心が全国的に高まっています。

市民の皆さんに対して、当院をはじめとした最新の治療情報をわかりやすく提供し、がんの正しい理解を深めて少しでも不安軽減につながるよう一般市民・患者向けの講演会を開催しています。今回はシリーズ第14弾として、胃がんをテーマに「**がん市民フォーラム in KOBE**」を開催いたします。

■申込み・お問い合わせ
神戸市イベント案内・申込センター
TEL:078-333-3372
受付　7月19日～8月17日（9:00～21:00）

神戸アイセンター病院開院に伴う診療体制の変更

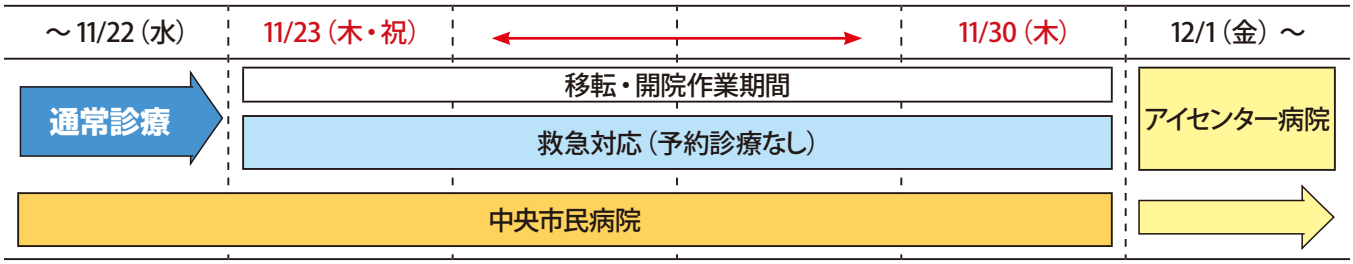
神戸市立医療センター中央市民病院と先端医療センターの眼科診療（救急を除く）は、神戸市域における標準医療から最先端の医療までを高い水準で行う基幹病院となることを目指して、平成29年12月1日（予定）より神戸アイセンター病院へ移行いたします。

開院準備に伴い12月までの中央市民病院の眼科診療体制は以下のとおりとなっております。

11月22日（水）までは通常診療を行っております。11月23日（木･祝）から30日（木）は移転･開院作業のため、通常の予約診療を行わず、救急対応を行う予定です。

ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。

スケジュール（平成 29 年）



- アイセンター病院は、中央市民病院とは別医療機関になりますが、中央市民病院や西市民病院、西神戸医療センターを運営している市民病院機構が運営していきます。
- 中央市民病院の眼科通院中の患者さんにつきましては、ご同意をいただいたうえで、引き続きアイセンター病院で治療を受けて頂くことを予定しております。
- アイセンター病院では救急対応は行わず、中央市民病院で対応します。（中央市民病院の救急医とアイセンター病院の眼科医が中央市民病院で救急対応を行います。）

ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いいたします

神戸市立医療センター中央市民病院からのお知らせ

かかりつけ医からの紹介状・FAX 予約について

他の医療機関からの『 紹介状・FAX（ファックス）予約 』があれば…

①診察までの待ち時間が短くなります。
②「紹介状」をお持ち頂くと、初診時選定療養費（**5,000円**）の負担がなくなります。
③「かかりつけ医」からの情報を参考にすることで、スムーズな診療が可能になります。

※かかりつけ医とは、「日頃、診察や健康管理を行ってくださる医師」のことです。
※かかりつけ医をお持ちでない場合は、お近くの診療所等を受診して紹介状をご持参いただきますようお願いいたします。

お問い合わせ：地域医療連携センター

ご寄付のお願い

PET-CT（平成 24 年 7 月より稼働中）

当院は、これからも地域の皆様へより良質で安全な医療を提供していきたいと考えております。企業、個人の皆様に寄付という形で当院の運営に共に携わっていただきたいと思っておりますので金額の多寡にかかわらず御支援を賜りますようお願い申し上げます。

院長　**坂田　隆造**

いただいたご寄付の用途

いただいたご寄付の用途としては、病院環境の整備、患者サービスの向上、最新医療機器の整備、臨床研究などがあり、できるだけご寄付された方のご意見を反映して使用させていただきます

ご寄付窓口

ご寄付をいただいた皆様　（平成 29 年 4 月～平成 29 年 6 月）

当機構にご寄付を賜りました方々を、感謝の気持ちとともにここに掲載させていただきます（順不同掲載）。

いただいたご寄付につきましては、できるだけご寄付いただいた方のご意見に沿って活用させていただきます。改めて感謝申し上げます。

中島清和　様、　中森哲臣　様、　北方　元　様、　大岩テル子様、
生田直子　様、　森上茂生　様、　大橋通男　様、　山本勝己　様
大平智章　様、　村井雅敏　様、　吉川ひろ子様、
川井　孝　様、　東尾尚宏　様、　山極浜子　様、
明和海運株式会社　様、エースプラン株式会社　様

お問合せ先：神戸市立医療センター中央市民病院　事務局総務課経理調達係
〒650-0047 神戸市中央区港島南町2丁目1番地の1
078-302-4321（代表）　E-mail：kifu@kcho.jp

平成29年8月発行　地方独立行政法人神戸市民病院機構 神戸市立医療センター中央市民病院